

校長挨拶

足立区立第十二中学校長 千葉 千登勢



4月より第十二中学校長に着任しました、千葉 千登勢と申します。どうぞよろしく申し上げます。
十二中学校の教育目標の下、令和6年度の重点事項を以下のように設定しました。

本校の教育目標 ○自ら学ぶ ○思いやる ○鍛える

本校の重点事項 スローガン「ひとりひとりが誰かを支える十二中生！」
～ さりげない思いやりを、日々の何気ない行動として実践できる生徒の育成～

本校の重点的な取組として、大きく二つの学力向上を目指して参ります。まず目に見える形での学力の向上では、「基礎学力の定着と向上を目指した、分かる授業の実現」を目指します。足立スタンダードに基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、日々授業改善の意識をもちながら授業に臨んでいきます。近隣小学校3校とも9年間の学びの継続を重視し、「足立スタンダード虎の巻」を活用しながら連携を図っていきます。また、ICTやAIドリルを有効活用し、放課後補充教室（ジャンプアップタイム）や夏季休業中のサマースクールで学力の定着を目指して補充を行っていきます。さらに本校の特色として、20年続く開かれた学校づくり協議会主催のサタデースクールには毎年30名以上の生徒が自主的に参加しており、卒業生の大学生ボランティアの協力の下、今年度も年間31回開催します。

もう一つの学力は目には見えないものではありませんが、「社会人として自立していくために絶対に欠かせない力の育成」を目指します。生徒達には上記のスローガン「ひとりひとりが誰かを支える十二中生！」を掲げ、さりげない思いやりを日々の何気ない行動として当たり前実践できる人になろうと呼びかけております。また、本校では前任の上岡校長が3年間研究指定校として積み上げてきたキャリア教育の推進があります。今年度も全教育活動の年間指導計画を以下の4点を重点に再編し、引き継いで指導して参ります。

ア、相手の話を聞き、理解する力	イ、お互いを認め合える力
ウ、自らの気持ちを素直に言葉にできる力	エ、物事の課題を発見し、協力して解決しようとする力

学級内ではトラブルも発生しますが、「相手の気持ちを考えて、自分の言葉を発する。仲間と協力する」など、生徒自身が学校に来て自分だけでなく、相手の存在を認められるような「自他を尊重する学校」「安心、安全な学校」を教員・生徒と一緒に作っていきたくと思っています。そして、日々の生活や学校行事において、生徒会や委員会活動を中心に生徒が自らの力でよりよい学校作りを主体的に提案し、実践できる学校作りを目指します。

十二中の良さは、きめ細かく丁寧に先生方が生徒と接することができることと、保護者や地域の方が温かく応援していただいていることに尽きます。このことを大切にして、保護者や地域の方と協力しながら地域に根差した学校として、精進して参りたいと思います。

中学生の大切な時期を保護者の皆様とともに成長を見守り、指導してまいります。学校の様子などは学校日より、学級日より、HP、H&Sで配信していきます。土曜授業や学校公開日、学校行事など多くの参加を呼びかけて参りますので、是非ともご協力をお願いします。

教職員一同、よりよい学校作りに邁進して参ります。

保護者、地域の皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。